



金太郎生誕の地 おやま

平成 29 年度
小山町 部長マニフェスト
評 価 結 果

平成 30 年 4 月

小 山 町

目 次

◇ 部長マニフェスト評価の概要	1
◇ 部長マニフェスト	
● 企画総務部長	2
● 住民福祉部長	3
● 経済建設部長	4
● 経済建設部長代理	5
● 教育次長	6
● 危機管理監	7

部長マニフェスト評価の概要

- 1 評価時期 平成 30 年 4 月
- 2 評価方法 各部長は、マニフェストに掲げた施策への取組結果及び目標達成状況を記載します。
なお、部長に異動があった場合は、前任者が記載し後任者へ引き継ぐこととします。
- 3 評価者 町長は、施策毎の目標達成状況を踏まえて最終評価を行うとともに、「町長から一言」欄にコメントを記載します。
【評価区分】 A（達成）、B（一部達成）、C（未達成）
- 4 評価結果 評価結果は、平成 29 年度の部長マニフェストに反映し、施策の P D C A を図ります。
- 5 公表 評価結果は、町のホームページ及び広報おやまを通じて公表します。
・ホームページ：5 月初旬、広報おやま：5 月号

【部長マニフェストとは】

1 作成の目的

- (1) 各部の基本方針や重点的に取り組む施策及びその目標を明らかにし、町民にかかれた行政運営を目指します。
- (2) 組織で施策の目標を共有化することにより、目標の達成に向けて職員が一体となって施策の推進に取り組みます。
- (3) 毎年、施策の目標の達成状況を評価し、翌年度のマニフェストに反映することにより、施策の P D C A を図ります。

2 作成者

企画総務部長、住民福祉部長、経済建設部長、経済建設部長代理、
教育次長、危機管理監

平成29年度 企画総務部長マニフェスト評価結果

部長 湯山 博一

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価
1	税制度の見直し	H30 当初の都市計画税導入が可能となるよう、町民、議会等の同意を得ます	平成29年12月議会定例会に条例案を上程しました 総務建設委員会に付託後、本年3月議会において継続審査との報告がされました 評価区分 C (未達成)
2	ふるさと納税の促進	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税（個人版）額 ⑳目標 15 億円（㉔実績 18 億円） ふるさと納税（企業版） 5 社 2 億円（㉔実績 2 社 5.1 千万円） 	【個人版】 返礼品等を追加し、27 億円を超える寄附をいただいた。 【企業版】 延べ 26 社から、5 千 6 百万円余の寄附をいただいた。 評価区分 B (一部達成)
3	金太郎計画 2020 の着実な推進	<ul style="list-style-type: none"> 金太郎計画に基づく事業の実施数 ⑳目標 各地区 3 事業以上 （㉔実績 各地区 2～8 事業） まちづくり活動発表会の参加者数 ⑳目標 200 人（㉔実績 150 人） 	【事業の実施数】 成美 2 事業 明倫 4 事業 足柄 7 事業 北郷 4 事業 須走 5 事業 計 22 事業を実施しました 【活動発表会の参加者数】 小山高校生を含む 600 人の参加があった 評価区分 A (達成)
4	健全な財政運営の確立	<ul style="list-style-type: none"> 財政調整基金年度末現在高 6 億円以上 総合計画推進基金年度末現在高 4 億円以上 	【財政調整基金年度末現在高】 641,520 千円 【総合計画推進基金年度末現在高】 831,131 千円 評価区分 A (達成)
5	働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ノー残業デイの実施。 各所属一月あたり 3 日以上 年次有給休暇取得日数 平均 9 日以上 	【ノー残業デイの実施】 ノー残業デイ設定日に時間外勤務をした職員の率は、4.2%でした 【年次有給休暇取得日数】 平均 5.9 日 評価区分 B (一部達成)

◎町長から一言

- ・都市計画税導入には頑張ってくれましたが、あと一息でした。
- ・ふるさと納税企業版については、平成 28・29 年度とも努力が見えません。
- ・金太郎計画 2020 に多くの町民が関心を持つ努力をしてほしいと思います。
- ・年次有給休暇の取得の徹底をしてください。

平成 29 年度 住民福祉部長マニフェスト評価結果

住民福祉部長 小野 一彦

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価
1	国民健康保険 特定健診の受診率向上	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病の早期発見と早期治療により重症化を防ぎ、医療費を適正化するため、特定健診受診キャンペーン（啓発、通知、電話）を実施します ・特定健診の受診率 60% 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の受診率 49.3%（受診者数：1,636人／対象者数：3,320人、11月末）…11月に集中的に受診勧奨を実施し、昨年同期よりも2.1%上昇しましたが、未達成でした <p>評価区分 C（未達成）</p>
2	介護予防施策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、ふれあい茶論を開催する他、地域において認知症の方が穏やかに生活するための見守りのため、認知症サポーター養成講座を開催します ・ふれあい茶論の参加者数 3,000人 ・認知症サポーター養成講座受講者 200人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい茶論の参加者数 2,779人（茶論以外を含めた総数：4,145人） ・認知症サポーター養成講座受講者 302人 <p>評価区分 A（達成）</p>
3	お達者度向上プロジェクト事業の推進	<p>高齢者の健康づくりと生活習慣病の予防のため、高齢者の自主運動教室、出張けんこう講座を開催します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の自主運動教室実施 17教室 ・出張けんこう講座の参加者 1,400人 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の自主運動教室実施 17教室 ・出張けんこう講座の参加者 1,407人 <p>評価区分 A（達成）</p>
4	健康マイレージ事業の推進	<p>お達者度を向上させるため、健康マイレージ事業を周知し、ふじのくに健康いきいきカード協力店及び商品協賛事業所を増やします</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康マイレージポイント達成者 400人 ・ふじのくに健康いきいきカード協力店 7箇所 ・賞品協賛事業所 15社 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康マイレージポイント達成者 616人 ・ふじのくに健康いきいきカード協力店 9箇所 ・賞品協賛事業所 16社 <p>評価区分 A（達成）</p>
5	小山町民の交通死亡事故ゼロ	<p>高齢運転者向け安全運転講習を実施する他、ふれあい茶論等の集まりに出向き、交通安全講話を行います</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小山町内の人身交通事故発生件数 90件以下 ・小山町内の町民の交通事故死亡者数 0人 	<ul style="list-style-type: none"> ・小山町内の人身交通事故発生件数 63件 ・小山町内の町民の交通事故死亡者数 0人 ・ふれあい茶論等の交通安全講話回数 7回 <p>評価区分 A（達成）</p>

◎町長から一言

- ・特定健診の受診率が、平成28・29年度とも未達成です。ひと工夫してください。
- ・ふれあい茶論については、町も社会福祉協議会に協力して、もう少し関わりを持ったらどうでしょう。

平成 29 年度 経済建設部長マニフェスト評価結果

経済建設部長 池谷精市

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価
1	小山町観光振興計画アクションプランの推進	富士山や町内の観光資源を活用した観光交流客数増加の取り組みと共に、情報・交通基盤の整備、広域連携、観光客の受け入れ態勢の充実を関係機関と連携して進めます ・アクションプランに掲げる 25 項目の年度目標値の達成 ・日本版DMOの設立に向けた準備室の開設 ・観光資源を活用した観光イベントの開催 2本以上	25 項目（78 本の施策）のうち、目標達成した施策は 7 割に留まりました。 日本版DMOについては、準備室を設け、町内の観光の実態把握を行い、法人化への準備を進めました 観光イベントは、富士山シャクナゲ鑑賞ハイク、誓いの丘ダイヤモンド富士カフェを開催しました 評価区分 B（一部達成）
2	木造住宅耐震化の推進	予想される大規模地震に備えるため、旧耐震基準により建築された木造住宅の耐震診断、耐震補強計画、耐震工事を推進します ○補助制度による申込み件数 ・耐震診断 120 件 ・耐震補強計画 66 件 ・耐震補強工事 60 件	専任の職員を配置し、耐震化への取組みを推進しましたが、目標達成には至りませんでした ○補助制度による申込み実績 ・耐震診断 65 件 ・耐震補強計画 27 件 ・耐震補強工事 28 件 評価区分 C（未達成）
3	道路インフラ整備の推進	新東名高速道路建設に伴う幹線道路整備と都市計画道路用沢大胡田線の事業進捗を図ります ・都市計画道路大胡田用沢線 町道一色中日向線から国道 246 号区間の用地買収及び物件補償契約の完了 15 件 ・町道 3628 号線（アクセス道）用地買収契約の完了 15,007 m ²	都市計画道路大胡田用沢線の物件補償契約は 100%となりましたが、用地買収契約は 97%でした。 町道 3628 号線の用地買収契約は 100%となりました 評価区分 B（一部達成）
4	農地集約化の推進	持続可能な力強い農業を実現するため、未来の設計図となる「人・農地プラン」の作成及び農地中間管理機構を活用した農地集積・集約化を推進します ○担い手が活躍する農業構造の推進 ・「人・農地プラン」新規作成 1 地区 ・農地中間管理機構活用面積 2ha	所領地区で新規に「人・農地プラン」が作成されました。 農地中間管理機構を活用して 3.8ha の農地が集約されました 評価区分 A（達成）
5	交通拠点施設の整備	昨年度事業進捗が図れなかった足柄地区拠点整備事業について、住民の意見を反映した足柄駅舎と支所等の複合施設の整備計画を推進します ・足柄駅交流センター（仮称）基本計画の策定 ・住民説明会の開催	JR東海との調整が進み、公募型プロポーザルにより、基本計画の提案を募る準備が整いました。また、足柄地区において、住民アンケートが実施され、プロポーザル実施要綱に結果を反映しました 評価区分 B（一部達成）

◎町長から一言

- ・観光アクションプランについてはPDCAサイクルをしっかりと回してください。
- ・木造住宅耐震化の推進は課を挙げての努力が見えません。（防災の一丁目一番地の認識を！）
- ・都市計画道路の用地買収には、課を挙げての努力が必要であり、部長自らが先頭に立つ事も必要です。

平成 29 年度 経済建設部長代理マニフェスト評価結果

経済建設部長代理 遠藤正樹

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価
1	三来拠点事業 (小山 PA 周辺地区)の着実な推進	新東名高速道路の「小山 PA 周辺地区」に地域防災力を高める観光関連施設及びモータースポーツ関連産業の集積を進めるため、町が事業主体となって、開発を推進します ・進出企業（造成事業協力者）との基本協定締結	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度特別会計予算を編成しました 企画提案公募の準備を進めましたが、実施は、平成 30 年度になってしまいました <p>評価区分 B（一部達成）</p>
2	三来拠点事業 (湯船原地区)の着実な推進	山来拠点事業の先進地区である、「湯船原地区」に、「地域資源循環型林業」を中心に、複合的な開発を推進します ・林業エリア/木質バイオマス発電所整備完了 ・アグリインダストリーエリア/実施設計・換地計画策定 ・上野地区工業団地（ロジスティックターミナル）/進出企業（造成事業協力者）との基本協定締結	<ul style="list-style-type: none"> 林業エリアでは、年度内の木質バイオマス発電所整備が完了しませんでした。 アグリインダストリーエリア 実施設計・換地計画を策定しました 上野工業団地は、造成事業協力者と基本協定を締結しました <p>評価区分 B（一部達成）</p>
3	三来拠点事業 (足柄 SA 周辺地区)の着実な推進	現東名高速道路の「足柄 SA 周辺地区」への進出企業に協力し、観光複合施設建設を推進します ・「足柄 SA 周辺地区」（桑木地区）用地買収受託事務完了	<p>年度内の足柄 SA 周辺地区の用地買収受託事務が、一部完了しませんでした</p> <p>評価区分 B（一部達成）</p>
4	自己実現型定住促進事業の推進 (地方創生推進交付金事業)	子育て世代、若者世代の定住・移住を促進するため、小山町および近隣市町のママ達や、都内の大学生・若手社会人等をターゲットとしたイベント等の企画・運営を推進します ・ママ向けイベント参加者数 50 人 ・若者向けイベント参加者数 50 人 ・新規創業件数 3 件	<ul style="list-style-type: none"> ママ向けイベントに、延 126 人参加していただきました 若者向けイベントに、延 54 人参加していただきました 法人の新規起業件数が 3 件ありました <p>評価区分 A（達成）</p>
5	婚活支援事業の活性化	独身の男女に出逢いの場として、イベントの企画・仲介支援を行い、将来的な結婚、町内への定住、出産とつながる婚活支援事業の活性化を図ります。 ・婚活イベント企画・運営 5 回 ・カップル成立数 20 組	<ul style="list-style-type: none"> 婚活イベント企画・運営を 8 回行いました 計 25 組のカップルが、成立しました <p>評価区分 A（達成）</p>

◎町長から一言

- ・木質バイオマス発電については準備不足が見えました。計画的に進めてください。
- ・用地買収が難しい中で良くがんばったと思います。努力を評価します。

平成 29 年度 教育次長マニフェスト評価結果

教育次長 長田忠典

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価
1	子育て支援の充実	<p>平成 29 年度中の（仮称）中央子育て支援センター開設に向け、運営方法等を決めていきます</p> <p>放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の充実に努めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）中央子育て支援センターの運営方法等の検討及び決定 ・北郷小学校放課後児童クラブの施設整備 ・明倫小学校放課後子ども教室の開設準備 	<p>・「きんたろうひろば」は、運営検討部会で検討してきた。平成 30 年 3 月 8 日から多くの親子連れに利用していただいています</p> <p>・北郷小放課後児童クラブは、平成 30 年 3 月 5 日から新施設で有意義に活動しています</p> <p>・明倫小学校放課後教室は、小学校理科室を活用し、平成 30 年 5 月から開始します</p> <p>評価区分 A（達成）</p>
2	教員が子どもと向き合える時間の確保	<p>授業及び校務事務等を支援する講師を小中学校に配置すると共に、校務支援システムを導入し、教員の事務負担の軽減を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が子ども達と向き合える時間等が増えたのか検証（教員アンケートの実施） 	<p>教員の事務負担軽減に大きく繋がり、講師配置は非常に成果があった。システム導入について、「子どもと向き合う時間が増えたと感じる」が 58%と低かったので改善等を行っていききたい</p> <p>評価区分 B（一部達成）</p>
3	キャリア教育及びボランティアの充実	<p>小山高校生の町役場でのインターシップ受け入れを実施し、行政に興味を持ってもらいます</p> <p>中学生ボランティア登録数の向上に努め、地域での活動の場を増やします</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小山高校 1 年生全員の受け入れ ・中学生ボランティア登録率 60% ・ " 活動事業数 30 件 	<p>小山高校生は、前年同様、1 年生全員 164 人が参加、その高校の取組が評価され文科省から表彰されました</p> <p>中学生ボランティアも積極的に地域等に出て活動してくれています。登録率は、57.2%、活動事業件数は、33 件でした</p> <p>評価区分 B（一部達成）</p>
4	文化財等の PR による地域への愛着向上	<p>身近な文化財等を知ってもらうために、文化財解説冊子作成委員会を設置し、文化財冊子を作成します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすい文化財解説冊子の作成及び配布 	<p>作成委員会で地区ごとに史跡、名勝等を冊子にまとめることとし、初めに明倫地区を作成、発刊します</p> <p>評価区分 B（一部達成）</p>
5	スポーツ・リクリエーションの推進	<p>パークゴルフ場施設を利用しやすく整備すると共に、町内外に周知を行い、利用者数の増加を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理棟の整備及び利用者数 8,500 人 	<p>クラブハウスの建設とコースの公認取得を実施。平成 29 年度利用者数は、6,969 人でした。今後さらなる増加を図っていきます</p> <p>評価区分 B（一部達成）</p>

◎町長から一言

・ボランティア登録に、もう少し努力が必要だと思えます。今後は、目標も高く掲げて、地域一体となって多くの人に触れ合える機会をつくりましょう。

平成 29 年度 危機管理監マニフェスト評価結果

危機管理監 岩田芳和

◎重点施策

No	施策	年度当初の目標	取組結果・目標達成状況／評価
1	防災意識の向上	<p>町民一人ひとりが「防災」の意識を持ち、意識の高揚を図るため、防災士連絡会や学校との協働による講演会等を開催します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災講演会参加者数 300 人 ・小学校、中学校、高等学校での防災講話 5 校 	<p>小学校、中学校及び高等学校に対する防災講話を 4 校(小学校 1 校、中学校 2 校、高等学校 1 校)で実施し、防災講演会参加者は 315 人であり、目標を上回りました</p> <p>評価区分 B (一部達成)</p>
2	富士山噴火避難計画等の見直し	<p>「防災日本一のまちづくり」を進める観点から、実効性のある計画に見直し改善していきます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山噴火避難計画、地域防災計画、業務継続計画及び水防計画の改訂 	<p>富士山噴火避難計画、地域防災計画、水防計画は見直しを行いました。業務継続計画の情報システムに係る事項が未定のため、見直しには至りませんでした</p> <p>評価区分 B (一部達成)</p>
3	防災体制の充実	<p>物資、避難場所、要援護者支援など、防災対策の推進を図るため、事業所等との防災協定締結を実施します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災協定締結(累計件数) 45 件 	<p>事業所 2 件、行政 2 件防災協定締結し、累計件数は、45 件となり目標を達成しました</p> <p>評価区分 A (達成)</p>
4	自主防災組織の充実	<p>自主防災組織(40 組織)は「自助・共助」を担う重要な組織であるため、自主防災組織と連携して災害時を想定した訓練などを実施します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時を想定した訓練 20 組織 ・地域防災訓練参加者数 7,300 人 	<p>災害時を想定した訓練は 20 組織実施しましたが、地域防災訓練参加者は 7,109 人で目標に届きませんでした</p> <p>評価区分 B (一部達成)</p>
5	消防団の体制強化	<p>消防署と連携し事業を推進していくとともに、消防団員の確保に努め、活動時における安全を確保する装備品や資機材の整備を進めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員数の充足率 95% 	<p>定数 188 人に対し、164 人であり充足率 87%で目標に届きませんでした</p> <p>評価区分 C (未達成)</p>

◎町長から一言

- ・防災講座は、今後も継続して続けてください。
- ・消防団員の獲得には、あらゆる努力をしてください。